

健康ニュース

神戸市東灘区住吉本町2丁目19-3 TEL(078)851-9381 FAX(078)821-7270 Email info@kosegojo.sakura.ne.jp URL www.k-kyowakai.or.jp

2025年/5月号 No.417

発行 東神戸医療互助組合

日本国憲法第25条 (生存権、国の社会的使命)

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の
向上及び増進に努めなければならない。

今、話題の PFASをともに考えましょう!

学習会に50人以上が参加



▲血液検査とPFAS相談
外来の開始をお知らせ

※PFASとは有機フッ素化合物の総称。近年、発がん性や子どもの
成長への影響など有害性が指摘されている。

第2弾 75歳以上医療費窓口負担 (2割化実施後)アンケート調査

実施期間 3月4日(月)～4月30日(水)

①調査目的

主に2割になった75歳以上の高齢者を対象としてアンケートを実施し、医療費の窓口負担の負担感及び受診抑制等の受療権への影響、暮らしへの負担感、2025年10月に終了する「配慮指造」や政府の今後の更なる負担増の検討に対する声を集めて公表する。

②調査方法 (以下のどちらかをお選びください)

1. 今号に折り込みされているアンケートにお答えいただき、各事業所、各薬局または互助組合の企画やあつまりにご持参ください。

2. Googleフォーム
QRコードを読み取っていただき、アンケートにお答えください。

みなさまの
声をお聞かせ
ください!!

主催：四者(社)協運動推進事務局

3月20日(木・祝、中央文化センターにて東神戸病院の瀧本和雄医師を講師にPFAS学習会が行われました。

PFASが、化粧品など身近な物にも使われていたこと、体内から容易に排出されないこと、生殖機能への影響や腎臓がんなど健康障害のリスクが高まること、基準値がアメリカはPFOSとPFOAそれぞれ4ng/lに対し日本はPFAS全体で50ng/lと極めて低いことなどが紹介され

ました。兵庫県内では明石川流域の数値が注目されていますが、昨年10月の調査で灘区崖地通の地下水から180ng/lのPFASが検出されたこと、参加者から驚きの声があがりました。

最後に、今後の健康影響を調査するために血液検査をおこなうこと、昨年10月から東神戸病院でPFAS相談外来を開始していることが報告されました。

(社保平和委員会
委員長 渡部 明)

今号は総代会議案別刷(左綴じ横書き4頁)を折り込み、本紙は4頁に縮小して発行しました。

お引越された方、家族構成に変更があった方は互助組合事務局[(078)851-9381]までお知らせください。

支部だより

芦屋支部

三つの基本方針に取り組んでいます

濱本 鶴男

芦屋支部は、毎年5月に支部総会を行っています。2024年度は次の三つの基本方針を決めて取り組んでいます。

(1) 班会の充実と新たな居場所づくりに取り組みます。

(2) 健康づくりに取り組みます。

事業所紹介

住まいのサポート ケアホーム布引

生活相談員 山本 正博

皆さんは、将来歳を取って自宅での生活に不安を感じるようになった場合どうされますか。そんな時頼りになるのが神戸健康共和国(以下、共和国)です。

共和国では、ふきあいの郷に高齢者住宅(ケアホーム布引)を23室設けており、介護と医療の連携を図りながら地域で安心して生活



ができるよう住まいを提供しています。最近はお院や診療所からの紹介で入居される方が多いですが、ひとり暮らしになったので入居されたという方もおられます。

ケアホーム布引では24時間職員が常駐して生活相談に応じ、季節ごとにあつまつ



住所：〒651-0068
神戸市中央区旗塚通5-1-25
TEL：(078) 862-1828

が、ひとり暮らしになったので入居されたという方もおられます。

ケアホーム布引では24時間職員が常駐して生活相談に応じ、季節ごとにあつまつ

(3) ひとりぼっちをなくす
まちづくり運動に取り組みます。

長川班会(脳いきいきクラブ)と打出班会(フレイブル防体操)は、多くの皆さんに参加していただけたよう、楽しいゲームや医療懇談会なども企画しています。2024年度から「朗読の会」もスタートしました。

ウォーキング「お気散歩」は、阪神・淡路大震災30年のメモリアルウォークをおこないました。楽しい仲間づくりの場である「芦屋三線の会」、映画を観て話



し合う「映画サークル」、オータムコンサート「下記写真」も好評です。

また、奇数月の第2水曜日は駅頭宣伝に取り組んでいます。

こうした活動を、支部運営委員会や広報宣伝チーム、イベント企画チーム、ニュース編集チームなどで計画しながら進めています。

わたしのわが街紹介

六甲アイランド支部 高西 裕子

「アイのウォーク」!

これは、2021年から始まったアイの「I(愛あふれる)I(アイ)ランドをI(わたし)が歩く」を合言葉にした65歳からのスタンパフリーで、フレイル予防・健康増進のための取り組みです。



六甲アイランド支部も参加を呼びかけ、手押し車や杖の方も参加し、総数500人以上の参加! スタンブを集めたら、「あんすこ」へ行き次のカド獲得。何冊目達成!とご褒美ありも長続きの秘訣です。3年経過し、最高は64冊目を越したとか。





ヒバク2世の私としては「日本被団協」がノーベル賞を受賞したのは、活動の大きな励みになります。黒い雨の恐ろしさを4人の孫にも語り伝えたいと思います。

(灘区 小林 啓子さん)

阪神・淡路大震災から30年、その後も日本各地で地震が起きています。私達家族はおかげ様にて大した被害もなく今日まで過ごしています。家族を亡くされた方や、住居を離れざるをえなかった人々の記事や声を聞く度、元氣な今在ることを感謝です。改めて、防災の意識を忘れないようにしたいと思います。

(東灘区 久次米菊菜さん)

つですが、医療関係者の皆様に救われています。今年も一年「平和な世界になる様」祈る!!

(北区 高橋 一男さん)

東神戸病院・遠山院長先生の新年のご挨拶、全く同感です。今のままでは更に分断、対立、格差が広がると思っています。

(長田区 武田 茂さん)

健康のオーラに囲まれて、底なしに爆食する様を見ている私は幸せ者です。

(東灘区 尾川 智子さん)

健康ニュースは2か月に1回の楽しみで、喜んで楽しく隔から隔まで目を追っています。健康第一ですから、とても勉強になります。いつもありがとうございます。

いろいろ喫茶(第一、第三)で、とても楽しく、皆さんに喜んでもらえる様に、お手伝いさせて貰っています。皆さんと一緒にサントウィッチ、コーヒーおいしいですよー来てください。

(北区 丸尾 雅子さん)

特別編

互助組合を支える人々たち

100歳手配り現役!!



御影支部
伊藤 マツ子さん

Q1 互助組合に加入したきっかけは?

A1 1993年に現在も住む市南支部で運営委員をされている方に誘われました。

Q2 加入後はどんな活動を?

A2 魚崎の仮設住宅にいた時に本部の職員さんに頼まれて仮設住宅で組合員を増やしました。

Q3 これまで関わった班会は?

A3 最初は手芸の会を始め、深江や住吉、尼崎からも参加がありました。

LINE 公式アカウントははじめました!

最新情報やイベントなど東神戸医療互助組合に関するお知らせをお届けします。

お友達登録はこちらから!

Q4 最近のこだわりは?

A4 スマホの勉強です。教室にも通って、しっかりと使いこなしたい。主治医の遠山院長の見立てどお方いいの、体調も良く、まだまだがんばれそうです。

2025年4月1日の東神戸医療互助組合

- 組合員数 (両院不詳を除く) 17,912世帯
- 出資金 1,421,986,256円

- 各支部の連絡先一覧
- 戸屋支部 TEL (0797) 31-7454 (戸屋民商内)

- ほくら支部 住吉南支部
- うはら支部 住吉南支部
- 住吉北支部 住吉南支部
- 六アイ支部 住吉南支部
- 灘東支部 住吉南支部

- TEL (078) 851-9381 (互助組合事務局)
- TEL (078) 231-2335 (柳瀬診療所内)

- TEL (078) 231-9031 (東神戸診療所内)
- TEL (078) 351-0251 (生田診療所内)

- TEL (078) 371-1841 (事務局長宅)
- TEL (078) 851-9381 (互助組合事務局)

- TEL (078) 953-2885 (支店長宅)

- 出資金はこちらへ郵便振替
- 口座番号: 01180 7 29220

- 銀行振込
- みなと銀行 住吉支店
- 口座番号: 普通213870

★いずれも名義は「東神戸医療互助組合」

出資金・出資運動にご協力下さい!!

2つの絵に7か所がうところがあります。どこでしょうか? (印刷のよれやかすれを除く) 絵に7か所の○印を入れ、ハガキ・FAX・メールにてご応募ください。住所・氏名を忘れずに。記事の感想もお待ちしております!

■宛先 〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町2-19-3 東神戸医療互助組合事務局 宛

■FAX 078-821-7270

■メール info@kobegojo.sakura.ne.jp

■しめくり 6月10日到着分まで

※正解者の中から抽選で10人の方に500円の図書カードを進呈。

★416号では76通の応募があり、68通の正解でした。

★416号の答え ①小鼓を持つ人の鳥帽子の種類 ②小鼓を持つ人のかまの裾の形 ③笛を吹く人の髪型 ④笛を吹く人の右隣の人の足の位置 ⑤飲み物を飲む人が持つ器 ⑥飲み物を飲む人の髪型 ⑦太鼓をたたく人が持つバチの長さ

■当選者 (416号)

梅田 修二さん(北 区) 石野美佐子さん(灘 区)

佐久間佳子さん(東灘区) 渡邊 節子さん(長田区)

多田あけみさん(兵庫区) 木村 秀子さん(東灘区)

大橋 都江さん(北 区) 杉本 雅彦さん(東灘区)

宇城 明子さん(兵庫区) 辻井 光男さん(東灘区)

(6月上旬までに発送予定)

まちがいは7つ



春を感じる

うはら北支部 N・M



震災から30年にあたり、暖かくなったので、HAT神戸の一人と防災未来センターへ見学に行きました。あらためて怖さを感じ、準備が必要だと思います。

帰りにちよと東へ行くと西郷公園があり、桜が咲いているわーキングがてら見に行きました。

青空に河津桜と菜の花の3点セット、春を感じることができました。



3月3日の生田診療所の取り組みは地域に根差している。さすがだと思います。これから商店街を一緒に盛り上げてほしい。古くからの商店街はごも寂しいので応援したいです。

(長田区 渡邊 節子さん)

大陽かんチェックのニュースを読んで、内視鏡の方が正しくわかるかと思いましたが、探便も使った検査法の一つということがよくわかりました。記事を大切に取っています。

(東灘区 高橋 悦子さん)

お米の値段が高い野菜や調味料なども値上げされ、スーパーで一度買物するとすべに5000円くらいになります。できるだけ余計なものは買わないよう、値段を気にしながら買物するのも疲れます。消費税を減税してほしいと切に願います。今年度の予算が衆議院を通過しました。軍事費には8・7兆円が計上されています。社会保障費はわずかに増えただけです。高額療養費の上限引き上げに、がん患者の皆さんから反対の声が大きくなり、凍結されました。白紙撤回させるため、もっと声をあげていかなければと思います。▼そもそも憲法9条を持っている国が、軍事費を増やすべきでしょうか? 今、非核神戸方式がある神戸の港に、アメリカ軍の掃海艇が寄港しました。ひたひたと戦争の足音が聞こえてきます。軍事費をいくら増やしても、外国から食糧の輸入を止められたらこの国はアウトなのに。

(M・U)

色えんぴつ

運動を、広範な民主団体と連帯・共同し取り組みを強めます。

12. ケアプラン有料化をはじめとした介護保険制度の改悪反対運動やマイナ保険証の強要反対、「国保や介護保険料引き上げ」阻止、「高額療養費負担上限引き上げ」の白紙撤回、研修修業員ゼロ阻止や医師増員運動に取り組みます。
13. 戦後80年になります。核兵器廃絶に向けて日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名をさらに呼びかけ、平和行進や世界大会に積極的に参加します。また、50年間の歴史ある「非核神戸方式」を守る運動により一層力を入れます。
14. 阪神・淡路大震災から30年です。改めて自然災害などへの減災対策を考えます。また、東日本大震災（福島原発事故）から14年、政府が閣議決定した原発帰りのエネルギー基本計画に反対します。
15. 引き続きNO。②（二酸化窒素）カプセル調査に取り組み、「大気汚染」「地球温暖化」「神鋼石炭火力発電所の稼働」「ごみ処理の広域化」「PFAS（有機フッ素化合物）」などの環境問題について、学習会の開催や情報の提供に努めます。
16. 医療から誰一人取り残さない「無料低額診療事業制度」の宣伝・活用と相談活動を積極的にこなうために「くらしと命を守るハンドブック」の活用にも取り組みます。
17. 参議院選挙、神戸市長選を通しての世直し運動をすすめます。そして、県政の正常化を求めていますぐ声をあげましょう。

【語句の説明】

①アウトリーチ

アウトリーチ（outreach）とは、英語で「手を伸ばす」という意味で、支援が必要な人に積極的にアプローチしてサービスや情報を届ける活動です。

②HPH=Health Promoting Hospital & Health Services

HPH（ヘルスプロモーション活動拠点病院）とは、世界保健機関（WHO）が提唱する健康増進活動を実践する病院のネットワークです。医療機関が治療だけでなく、地域住民の健康増進にも貢献することを目的としています。

③青空健康チェック

「身体の調子が悪くても、忙しいので病院に行けない」「医療者の負担が心配」ということで、病気があっても患者になれない人々が増加したことから始まった運動。今や健康相談の場になるだけでなく、地域の人との対話や共同組織へのアピールの場となっています。

【共和会と共に活動を発展】

18. 職員と日常の組織活動（班会や医療懇談会、健康チェックや訪問行動など）への参加協力体制をすすめます。
19. 11月に開催予定の「健康まつり」を協力しながら成功させます。
20. 「新入職員オリエンテーション」「いつでも元気交流会」「医局との懇談会」など職員が互助組合を知る場づくり、組合員と交流できる場づくりに取り組みます。
21. 「盆踊り大会」や「もちつき大会」などの行事を各支部と事業所で協力して開催します。
22. 共和会の介護事業所見学会を実施し、地域に事業所の魅力を広めます。また、共和会からの各種イベント（学習会や見学会など）の依頼にも応えていきます。
23. 病院リニューアルを含め共和会事業の中長期的な構想づくりを共にすすめる共和会の経営を支える出資運動にも取り組みます。

基本課題 (目標)	■仲間ふやし	850件
	■出資金	10,000件
	増資1億円（純増5,000万円）	
	■いつでも元気	50部増
	■世話人（お世話がかり）づくり	配属協力者含め500人
	■転居先不明除く組合員	20,000世帯に回復へ

④ヘルスアップチャレンジ

10月1日～11月30日の2か月間、自分のえらんだ課題に挑戦します。毎日の取り組みと、その成果を「見える化」して、みんなで健康に良い生活習慣の確立をめざそうという企画。

⑤認知症サポーター実践講座

認知症の人とどんなふうに接したらいいのかわからない、という思いを持った方がたくさんおられます。認知症の人の気持ちを理解し適切なサポートができるように学ぶ学習会です。

⑥PFAS（有機フッ素化合物）

PFAS（ビーファス）とは、有機フッ素化合物の一種で、ヘルフルオロアルキル化合物とポリフルオロアルキル化合物を総称した言葉です。撥水・撥油性、耐熱性、耐水性に優れているため、工業製品や家庭用品などに幅広く使用されてきました。しかし、環境・人体への蓄積性や発がん性などが分かり、国際条約で禁止されています。

東神戸医療互助組合

2025年度総代会方針(案)

スローガン(案)

- ひとりぼっちの組合員をなくし、安心して住み続けられるまちづくりに取り組みましょう！
- 住民からの信頼、期待に応え、互助組合の存在価値を生かし、神戸健康共和会とともにアウトリーチ^{※1}に取り組みしましょう！
- 戦争する国づくりの異常な軍備大増強をやめ、憲法を生かし、9条と25条を守り、いのちと健康・人権としての社会保障を確立させましょう！

はじめに

2025年は被爆80年、終戦80年、阪神・淡路大震災から30年の節目の年です。あらためて、いのち・平和・人権を守り抜く社会の実現へ向けて、ねばり強く取り組んでいきましょう。

格差社会が広がる中、医療や介護分野では、患者・利用者の自己負担が重くなり、高齢者や生活が厳しい人たちに影響が出ています。環境面では、気候変動が深刻化する一方で、原発帰りの政策が進められ国民の負担が増大しています。

これらの医療・人権・環境など多岐にわたる分野で、市民社会が「健康の社会的決定要因」に目を向け主体的に関与し、持続可能な社会の実現を目指す必要があります。

私たちの病院は、地域の人々が安心して暮らせる「HPH=Health Promoting Hospital & Health

Services」^{※2}を目指し、病院・診療所や介護施設の職員と互助組合員が車の両輪となって「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」をすすめています。さらに地域や若い世代へつながりを広げ、共同組織として次の時代へ大きな第一歩を踏み出していきたいでしょう。

第49期総代会の任務は、①2024年度のとまとめ2025年度のすめかた決定②決算・予算の確認③先頭に立って実践する新役員の選出です。

2024年度 まとめ

1. 基本課題の到達

■加入

【年間到達】290件

（年間目標/目標比 850件/34.1%）

（前年/前年比 292件/99.3%）

◆各支部の楽しい企画や、健康チェックで互助組合の宣伝をし、加入につながりました。

◆インフルエンザ助成特典を紹介し、加入がありました。

◆班会などの参加者の方が「互助組合楽しいから加入して」と声をかけ、輪が広がりました。

■出資金

【年間到達】7,907万円

（年間目標/目標比 1億円/79%）

（前年/前年比 6,660万円/118.7%）

◆健康ニュース9月号に「増資アピール」として振

第49期定期総代会のご案内

6月1日（日）

午前9時30分開場 10時00分開会
（午後1時閉会予定）

兵庫県中央労働センター
2階 大ホール

●JR・阪神「元町」駅より西北へ徒歩15分。

とき
ばしよ

込用紙を折り込み、2月20日現在で85件157万円もの振込増資があり、コメント欄には「皆さま色々よく頑張っておられる様子、ありがとうございます」「地域になくてはならない財産です。よろしくお願いします」など心温まるメッセージも寄せられました。

- ◆秋の組織強化月間（以下月間）の企画として健診検査おトクカードを新しく追加したところ、「健診検査おトクカードを使って健診を受けたい、紹介したい」の声が多く、スタンプを集めるための出資が増えました。

■いつでも元気

- 【年間到達】51部増（購読総数 386部）
- ◆月間の中で意識的に購読者普及の声かけが行われ、月間のみで19部の成果がありました。増読数は年間で51部でしたが、年度末に名簿整理をし、増減で7部となりました。職員購読率を50%に上げる取り組みは大きな課題として早期に達成を目指します。

2. 居場所と世話人づくり

- ◆互助組合の世話人さんは年度当初393人、年度中に運営委員や健康ニュース手配り協力者が18人増えました。
- ◆7月29日「ボランティア慰労＆交流会」を開催し15人が参加しました。第1部で「介護関連入門編」について学習し、第2部では各居場所活動の交流をしました。
- ◆地域訪問では9支部が計画し、計22回の地域訪問を実施しました。272件訪問し、対話数は106件でした。
- ◆郵送料高騰にともない、健康ニュースの配達協力者さがしや、郵送地域の見直しが積極的に行われ、多くの支部で郵送件数を減らすことができました。
- ◆居場所での活動は多彩になってきました。複数の団体と協力して週1回のフレイル予防に取り組んだり、あんしんすこやかセンターと連携し機関紙に居場所の紹介がされるなど、活動の輪が広がりました。
- ◆班会は、互助組合の基礎単位であり、最も重要な活動の場です。今年度新しい班は3班誕生しました。

3. 健康づくり

- ◆班会や医療懇談会などに職員を講師として招き、フレイル予防体操の実践や疾患についての話を聞きました。

- ◆「青空健康チェック」※③は9支部が開催しました。商業施設や、イベントでの場も活用し、班会の宣伝の場としても利用されました。
- ◆「ヘルスアップチャレンジ」※④は今年も好評で、申込数はお子さんも入れて264人となりました。参加された方からは「年齢と共に体力は衰えてきますが、目標があると頑張れます。毎年楽しみにしています。」等の声が寄せられました。
- ◆10月20日「認知症サポーター実践講座」※⑤を開催し、34人が参加。認知症についての理解を深め、かわり方を学びました。
- ◆恒例の大腸がんチェックにも取り組み466件普及し、287件（3月31日現在）の検査を実施しました。

4. 組織作りと職員との協力

- ◆「第16回共同組織活動交流集会（主催：全日本民医連）」に13人が参加し、分散会では芦屋支部が演題を発表しました。また、10月26日には交流集会の報告会も開催。感想などを交流し全国の多彩な実践・活動を共有しました。
- ◆新入職員研修での地域訪問が病院周辺支部の協力により行われ、新入職員の加入にもつながりました。
- ◆LINEの公式アカウントから毎月1回配信し、登録者を増やしていきました。（3月31日現在149人）
- ◆4月2日「医局との懇談会」を2年ぶりに開催。41人が参加し、組合員と医局の先生方との交流を深めることができました。
- ◆7月31日「新運営委員学習交流会」を開催し、11人が参加。互助組合の歴史や役割を学びました。
- ◆事業所見学会を実施し、支部ニュースに見学の様子を掲載したり地域の方にパンフレットを渡すなど、利用者増に向けてアピールしました。
- ◆12月2日「ハラスメント研修」を開催し、13人が参加。ジェンダー平等社会を目指し、互助組合活動でも固定的な性別、役割分担にもとづく無意識の言動に気づくきっかけとなりました。

5. 社保平和、まちづくり運動

- ◆社保平和委員会を中心に、毎月の委員会前に駅頭署名行動を実施。芦屋支部、生田支部では定期的に署名・宣伝行動を実施し「現行の保険証を残せ」「介護保険改善を求める」署名行動などに取り組みました。
- ◆病院では診察での「医局アピール」とともに署名用紙を配布。多くの署名が集まりました。

- ◆兵庫県では、病院の規模や機能、研修先などを理由に、2024年度～2025年度で尼崎医療生協病院を含む7つの病院の研修医の募集定員の配分がゼロになる事態となりました。このことを受け、「令和8年度はすべての病院に2人以上の配分をするよう求める請願署名」を緊急でおこない1,000筆以上集め、地域医療存続のために声をあげました。
- ◆「平和行進」「原水爆禁止世界大会」「辺野古支援連帯行動（主催：全日本民医連）」に参加するなど、平和な社会の実現に向けて学習を深めました。
- ◆4月17日「PFAS学習会」を開催し、29人が参加しました。「PFAS（有機フッ素化合物）※⑥とは何なのか」から始まり、身の回りでPFASが使用されているもの、日本とアメリカ・欧州との基準値の違い、明石川の状況について丁寧に紹介いただきました。
- ◆3月20日に2回目の「PFAS学習会」を開催し、52人が参加。東神戸病院で行われているPFAS相談外来のことや、兵庫民医連でおこなわれるPFAS血液検査実施に向けてのカンパを呼びかけました。
- ◆10月30日「健康保険証は12月に廃止!?～私のすべきこと」を開催し、31人が参加しました。保険証発行廃止後も有効期限内は手持ちの保険証が使えること、有効期限までに届く資格証明証で引き続き受診できること、医療現場で起きているトラブルなどについて解説され、現行の保険証を存続させていこうと訴えられました。
- ◆総選挙、兵庫県知事選では私たちの要求を掲げ、実現に向けて市民と野党の共闘で取り組みました。
- ◆「2025新学習会」ではノーベル平和賞受賞を受け、日本被団協の濱住治郎さんにお越しいただき「ふたたび被爆者をつくらないために～日本被団協の運動とそのあゆみ～」について講演いただきました。
- ◆2024年1月に発生した「令和6年 能登半島地震」に続き2024年9月に「令和6年 能登半島豪雨災害」が発生。現地への支援として「緊急義援金」に引き続き取り組みました。

2025年度 すすめかた(案)

【創立75周年を見据えての組織づくり】

1. 私たちの要求の実現には昨年度に引き続いて20,000世帯の回復、そして出資運動が欠かせませ

ん。各支部が基本課題の意義と向き合って目標達成を目指しましょう。

2. 支部が自立して活動できるように努め、各支部で三役（支部長、副支部長、事務局長及び会計の配置など）をしっかりと決めましょう。そして、支部ごとに方針をつくり、年間計画を実行していきましょう。また、組合員50人に1人の運営委員（世話人）を目的に、視野を広げ新しい担い手をつくりましょう。
3. 「健康ニュース」「支部ニュース」のほかにも「ホームページのリニューアル」「公式LINEをはじめとしたSNSの活用」等で情報発信力を強化し、若い世代にもアピールできるよう努めます。
4. より活用しやすく組合員さんの拠点となる「互助組合会館（仮）」建設をすすめます。また、平和と憲法を守る象徴として「9条の碑」の建立を検討します。

【班会などの居場所づくりの充実と新しい担い手づくり】

5. 地域訪問に取り組みます。自分たちの住んでいる地域で顔の見える関係づくりをおこなうとともに、地域の現状を可視化して地域の状況を共有します。
6. 後継者作りも見据えて、世代別の要求にもとづいた楽しいイベントの開催や、互助組合活動の魅力を知ってもらうための工夫を定着させましょう。
7. 班会や居場所活動、行事など組合員さんが集える場所の拡充を目指します。

【たのしい健康づくり】

8. 保健予防活動として「フレイルチェック」を取り入れ、「健康チェック」の検査項目拡大を目指します。
9. 「組合員健診」の積極的な活用と健診受診数増加のために宣伝強化（ビラやパンフレットの作成）や予約方法の工夫など受けやすいシステムを確立し、地域で宣伝していきます。
10. 医療懇談会や班会をおとして医療や介護などを学べる場の提供や、健康に役立つ行事（ヘルスアップチャレンジなど）をおこないます。

【平和と憲法を守り、社会保障をすすめる運動】

11. マイナ保険証の強要、医療費の患者負担増、介護保険料の引き上げなどは、軍事費優先の政治体制と無関係ではありません。「憲法9条」を守る